

2014年度副専攻

「ジェンダー研究」

学生参加型ワークショップ

ジェンダーや、セクシュアリティについて、大学で学んでいるけど、なかなか同じ関心の人がないなあ…

大学のここが変わったら、女子も、男子も、セクシャル・マイノリティの学生も、もっと大学生活おくりやすいのに…

大学とジェンダーについて、いつも疑問に思っていたり、変わったらいいのに…と思っていることなど、**学生どうしで一緒に話し合っ、考え合っ、発信してみませんか???**

ジェンダーって言葉、よく聞くけど、いまいちピンとこない…

大学で、もっとジェンダーのこんなことについて学びたい!!

ジェンダーから
変えよう、
私たちの早稲田

第3回:「学生ミーティング—ジェンダーの視点からプロジェクトづくり」

日時:2015年1月23日(金) 18時15分～21時

場所:早稲田キャンパス3号館7階703

* 以前に告知していた日程が変更になりましたので、ご注意ください。

第1回目では、ジェンダーやセクシャルマイノリティの問題に関する活動、研究を行っている学生のポスターセッション。第2回目では、写真を通して早稲田のキャンパスをジェンダーの視点から見てきました。

そこで、3回目は、これまでのワークショップや、これまで自分が考えてきたことをふまえて、プロジェクトづくりをします。グループに分かれて、ジェンダーの視点から大学であつたらいいなと思う支援、プログラム、授業のアイデアを出しあいます。最後は、記録として冊子にまとめて、学内で共有できる形にします。

*** はじめての参加でも大丈夫です。 ***



ジェンダーの視点からのプロジェクトづくり

5～6人の小グループに分かれてのグループディスカッションで行います。

模造紙などを使って、ジェンダーやセクシャルマイノリティの視点から、大学において、どんな支援、授業、プログラムがあったらいいか、グループで話し合いながら、考えます。

例えば…

ジェンダーやセクシャル・マイノリティに関する支援窓口、ハラスメントのピアサポートプログラム…等

出来あがったプロジェクトは、後日、冊子にまとめて、学内各所に配付し、「学生からの発信」として、届けていきたいと思えます。

今回の企画について・・・

今年度から、早稲田大学では副専攻「ジェンダー研究」がスタートしました。6月には、舘かおる先生（お茶の水女子大学名誉教授・同大学ジェンダー研究センター客員研究員）を講師としてお招きし、キックオフ記念講演会「大学におけるジェンダー研究教育の意義—『スタディーズ』というスタンス」を開催しました。

秋学期は、副専攻「ジェンダー研究」を専攻している学生・院生を中心に企画し、3回にわたるワークショップを開催することになりました。

申し込み方法

●参加費 無料

●参加対象者 副専攻「ジェンダー研究」受講者、ジェンダーに関心のある学部生・院生、ジェンダーやセクシャルマイノリティに関するサークルなどで活動している人など・・・

* 定員30名程度

●参加手続き

下記の内容をご記入の上、1月21日(水)までに、以下のメールアドレスにお送りください。

なお、メールの件名(標題)は「第3回ワークショップ参加申し込み」にしてください。

送付先アドレス: 「ジェンダー研究」企画実行委員会 gender-promote2014@list.waseda.jp

①名前 ②所属 ③今回参加する理由、やっている活動、研究関心など ④(もしあればご記入ください。)話し合ってみたいテーマ/ジェンダーやセクシャルマイノリティの視点から、大学であつたらいいなと思う授業、サポート等

お問い合わせ先 早稲田大学ジェンダー研究所 村田晶子研究室

akikom@waseda.jp

